

標茶町「森と川の月間」実施結果

釧路川・別寒辺牛川・西別川の三大河川や釧路湿原国立公園・阿寒国立公園など、豊かな自然を有する標茶町では、毎年5月を「森と川の月間」として、10年以上にわたり取り組みを行ってきました。今年は町内外から、のべ1,433人の方が参加し、植樹活動・清掃活動が行われました。6,980本の植樹と、1,550kgのごみを回収しました。

第17回町内クリーン作戦

町道ルルラン通り | 5月6日

本町主催の第17回町内クリーン作戦が町道ルルラン通りの踏切から国道391号線までの約3.8キロの区間で行われました。町民ら119人が参加し、清掃活動を行いました。可燃ごみ530kg、不燃ごみ410kgを回収しました。



西別川清掃

西別川流域 | 5月13日

摩周水環境保全実行委員会（館定宣委員長）主催の西別川清掃が虹別周辺の西別川流域で行われました。町民ら12人が参加し、清掃活動に汗を流しました。可燃ごみ20kg、不燃ごみ10kgを回収しました。



釧路湿原クリーンデー

塘路湖周辺 | 5月20日

釧路湿原を美しくする会標茶支部（池田裕二支部長）主催の釧路湿原クリーンデーが、塘路湖畔やコッタ口湿原周辺などで行われました。町民ら140人が参加し、清掃活動を行いました。可燃ごみ400kg、不燃ごみ180kgを回収しました。



第16回摩周・水・環境フォーラム

虹別酪農センター | 6月4日

摩周水系西別川流域連絡協議会（曾根興三会長）などが主催の第16回摩周・水・環境フォーラムが開催され、62人が参加しました。「希望に向けた一歩を見る」をテーマに、森林の経営や管理、施業を山林所有者自ら行う自伐型林業の紹介や、北方領土での日本とロシアの共同経済・環境保全活動についての講演が行われました。



第24回シマフクロウの森づくり百年事業植樹祭

中虹別地区 | 5月21日



虹別コロカムイの会（舘定宣会長）主催の第24回シマフクロウの森づくり百年事業植樹祭が中虹別地区の町有林で開催され、町民や道内外の会員など303人が参加しました。この取り組みは、シマフクロウが生息しやすい環境をつくるための活動で、この日は、ミズナラなどの苗木3,000本を植樹し、西別川へサケの稚魚約5,000匹の放流を行いました。

第16回虹別萩野魚付保安林再生事業植樹

虹別萩野地区 | 5月19日



本町主催の第16回虹別萩野魚付保安林再生事業植樹が虹別萩野地区の保安林で開催され、ヤチダモの苗木300本を植樹しました。この取り組みは、釧路開発建設部で始めた保安林の枯れ木の再生を本町が引き継いで行っている事業で、この日は町民ら42人が参加し、保安林の再生の願いを込め苗木を植えました。

厚岸町民の森植樹祭

厚岸町糸魚沢地区 | 5月28日



厚岸町民の森造成実行委員会（河村信幸会長）主催の厚岸町民の森植樹祭が厚岸町糸魚沢地区で開催されました。別寒辺牛川・ホマカイ川流域環境保全協議会の活動の一環として、上流に位置する本町の町民も毎年参加しています。この日は、613人が参加し、ミズナラやヤチダモなどの苗木2,565本を植樹しました。

第23回豊かな緑と魚のリバーサイド植樹活動

コッタロ地区 | 5月27日



豊かな緑と魚のリバーサイド植樹活動実行委員会（近藤龍洋会長）主催の植樹活動がコッタロ町有林で開催されました。町民や釧路市漁協など142人がミズナラやヤチダモなどの苗木1,115本を植樹しました。植樹後は憩の家かや沼で交流会が行われ、釧路市漁協・釧路市東部漁協女性部の協力による「トキ鍋」などが振る舞われました。